

1. ^{ことば}み言葉を^か書いて^{おぼ}覚えましょう。

サムエル上18・1

2. ダビデとヨナタンは友だちになりました。ヨナタンはダビデのどこが気に入ったのでしょうか？ ○でかこんでみましょう。



強いところ

神様を^{あい}愛しているところ

イケメンなところ

羊が^す好きなところ

音楽好きなところ

お金持ちなところ



3. ヨナタンはダビデと^{けいやく}契約を結びました。それはどういう意味でしょう。

①^{きかんげんてい}期間限定で友だちになること。

②二人はいつまでも友だちでいると、神様にちかうこと。

③^{きら}嫌いになったら、友だちをやめるかもしれないということ。

4. ヨナタンはダビデにどんなものをあげましたか？^{せいしょ}聖書を調べてみましょう(4節)。

5. ヨナタンのダビデに対する気持ちはどんなだったでしょう？

①ダビデといっしょだったら、いいことあるかも。

②自分も友だちがいなくてつまらないし、ま、ダビデでもいいか。

③同じ神様を信じているダビデのためなら、どんなことでもしてあげよう。



^{いのち}お祈りしましょう。

神様、ダビデとヨナタンを友だちにしてくださったように、わたしにも^かずっと変わらない^{ゆうじょう}友情の友だちを与えてください。イエス様のお名前でお祈りします。アーメン。

C 2008 10月12日

あい けいやく
愛の契約

名前

1. み^{ことば}言葉^かを書いて覚え^{おぼ}ましょう。

サムエル上20・23

2. サウル王とダビデとヨナタン、それぞれの気持ち^{せん むす}を線で結び^{むす}ましょう。

サウル王



ダビデ



ヨナタン



①わたしの命はねらわ
れている。

②ふたりとも大切な人
だ。どちらの味方^{みかた}をすれ
ばいいのだろう。

③あいつを生かしてい
ては、わたしの立場もあぶ
ない。殺^{ころ}してしまおう。

3. ヨナタンはダビデのために何をしてあげたでしょうか。○をつけましょう。

- ①ふたりが話し合えるように、サウル王^うを連れてきてあげた。
- ②外国^にに逃げられるように、飛行機^{ひこうき}の手配^{てはい}をした。
- ③サウル王の本当の気持ち^{たし}を確かめようとした。

4. サウル王は本当にダビデを殺そうと思っていたのでしょうか。

5. ヨナタンはお父さんであるサウル王よりも、ダビデとの友情^{ゆうじょう}を守ろうとしまし
た。どうしてだと思いませんか。

6. あなたがヨナタンの立場だったら、どうしましたか。



お祈^{いの}りしましょう。

神様、わたしもヨナタンのように、友だちを命がけで守れるように、愛と勇気^{ゆうき}をあ
たえてください。イエス様のお名前でお祈りします。アーメン。

C 2008 10月19日

あい はげ
愛の励まし

名前

1. み言葉を書いて覚えましょう。

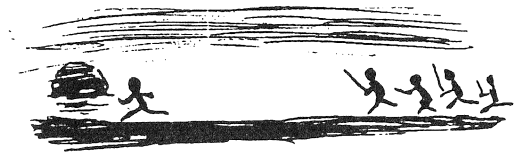
サムエル上23・16

2. サウル王に追われたダビデは必死で逃げます。ダビデはどんな気持ちだったと思いますか。

①ドキドキして、わりと楽しい。

②もう勝てるわけがない。降参しよう。

③神様に信頼しているが、サウル王の追跡はとてもこわい。



3. ダビデがとてもはげまされる出来事がありました。それはどんなことでしょう。

4. ヨナタンは神様から教えられたことをダビデに伝えました。それはどんなことだったでしょう。

①サウル王には勝てない。降参しなさい。

②恐れずにいなさい。神様が守ってくださいます。あなたは王になるでしょう。

③わたしも一緒に戦ってあげるから勝てますよ。

5. ダビデはヨナタンの言葉を聞いて、どう思ったでしょう。



☆神様のみ言葉は、わたしたちをどんな時でもはげましてくださいます。

お祈りしましょう。



ダビデはヨナタンから神様のみ言葉を聞いてはげまされました。わたしも神様のみ言葉でなぐさめられて、他の人をなぐさめてあげたいです。イエス様のお名前です。祈ります。アーメン。

C 2008 10月26日

ダビデの愛^{あい}

名前

1. ことば^{ことば}か^かおぼ^{おぼ}を書いて覚えましょう。

サムエル上24・12

2. サウル王はダビデの命をねらって 3000 人の兵^{へい}をつれてきました。サウル王がほら^{あな}穴に入ってきた時、ダビデと仲間^{なかま}の兵はそこにいました。それぞれの考えを線で^{むす}結びましょう。



サウル王・

- ・「殺^{ころ}すことは神様に喜^{よろこ}ばれない」
- ・「におうぞ。ダビデはこの中にいるな」



ダビデ・

- ・「トイレ、トイレ」
- ・「あっ！見つかった！にげろ！」

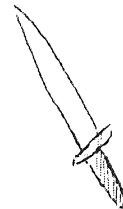


ダビデの
仲間の兵たち・

- ・「今がチャンス！やっつけましょう。」

3. ダビデがサウル王の上着を切っただけで、殺^{ころ}さなかったのはなぜでしょう。ダビデの気持ちに一番近いものを選びましょう。

- ① ち^ち血をみるのがこわかったから。
- ② ちが^{ちが}人違いだといけなかったから。
- ③ 神様がえら^{えら}選んだ王を殺^{ころ}すことは、神様に喜^{よろこ}ばれないと思ったから。
- ④ それはひきょうな気がしたから。



4. サウル王はダビデに助けられたことを知って、泣いてあやまりました。そしてダビデが次の王になることを認め^{みと}めたのです。ダビデの姿^{すがた}から何がわかりますか。

- ① チャンスはのがさないほうがよい。
- ② 神様におまかせすれば、一番いいようにしてくださる。
- ③ くる^{くる}苦しい時には、早めにあきらめたほうが良い。

いの^{いの}お祈りしましょう。



神様、わたしもダビデのように神様を愛して、信^{しんらい}頼します。一番よいことを神様がしてくださると信じます。イエス様のお名前^なで祈ります。アーメン。

C 2008 1 1月2日

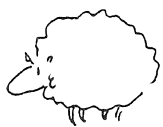
ダビデの賛歌

名前

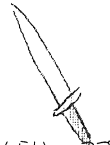
1. み言葉を書いて覚えましょう。

サムエル下23・5

2. 羊飼いかから王になったダビデが、どんなときも大切にすることは何だったでしょう。



羊飼いか



王

- ① まず神様のみ言葉を聞いて、神様に信頼し続けること。
- ② いつも体をきたえて、強くなること。
- ③ いっぱい勉強して、リーダーにふさわしくなること。

3. 人生の最後に、ダビデはどんなことを考えていたでしょうか。

- ① 神様を信じてきたけれど、つらいことばかりだったなあ。
- ② 自分もりっぱな働きができて、大満足だ。
- ③ 苦しいこともあったけれど、神様はいつも共にいてくださった。



4. あなたは神様とどのような関係をもっていますか。

- ① 教会にきたときだけ、神様のことを思い出す。
- ② 困ったときにも、あまり祈らない。
- ③ どこにいても神様のみ言葉を思い出す。毎日祈っている。

5. ダビデのように神様と共に生きていくために、あなたはもう何をしたいでしょう。

お祈りしましょう。



神様、わたしもダビデのように、み言葉を聞いて従い、どんなときにも神様に感謝できるように助けてください。イエス様のお名前を通してお祈りします。アーメン。

1. ことば か おぼ 言葉を書いて覚えましょう。

列王下 12・2

2. アタリヤ王が前の王の子を皆殺しにしようとしたとき、神様はある人物によってヨアシを助け、育てられました。それはだれでしょう。



①ダビデ王



②祭司エホヤダとエホシバ



③エジプトの王女

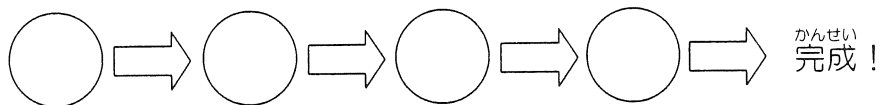
3. ヨアシは7才で王になりました。ヨアシは祭司エホヤダにどのように育てられたのでしょうか。

①たくましく、スポーツの得意な子。

②何でも食べられるお腹の丈夫な子。

③神様を愛する子。

4. 神殿がこわれているのを見たヨアシ王はどうしたでしょう。順番にならべてみましょう。



ア. 神殿にささげられた銀でなおしなさいと、祭司たちに命令した。

イ. 書記官、大祭司たちに命じて、工事をする人に銀をわたした。

ウ. 神様のために神殿をなおそう！と決意した。

エ. 主の宮の入り口に置いた箱の中に銀を入れさせた。

5. なぜ、ヨアシ王は神殿をなおそうと思ったのでしょうか。

お祈りしましょう。



神様、ヨアシ王のように神様の喜ぶことを一生懸命にする人になれるように助けてください。イエス様のお名前を通してお祈りします。アーメン。

1、エステルの言った今日の^{ことば}み言葉を^{おぼ}書いて覚えましょう。



エステル 4・16

2、今日のお話を思い出して次の質問に答えましょう。

の中に(エステル)さんか(モルデカイ)さんの名前をいれてね。

①ユダヤ人のさんはペルシャの国の王妃になりました。

②ところが、^{くにじゅう}国中に「ユダヤ人を殺せ」というおふれが^{ころ}出ました。

さんの^{そだ}育ての親であるさんはさんに「ユダヤ人を殺す命令を取り消すように王様^{おうさま}にお願い^{ねが}しなさい」と伝えました。

③その国では、王様^{おうさま}に呼ばれないで、勝手に家^{いえ}にくる人は死刑というきまりがありました。さんは悩み^{なや}ました。でも、「わたしの^{いの}ためにお祈りしてください。

わたしは王様のところへ行きます。もし、わたしが死なねばならないのなら死にます。」と神様^{かみさま}を信じて王様^{おうさま}に頼^{たの}みに行きました。

④そして、無事^{ぶじ}にその命令は取り消され、ユダヤ人は全員、命^{いのち}が助かりました。

みんな大^{おお}喜び。その日はユダヤ人の^{まつ}お祭りの日になりました。

3、みなさんはエステルさんのように自分に、犠^{ぎせい}牲(何かを^{うしな}失うこと)や危^き機があつて

も、神様^{かみさま}に^{したが}従うことができるでしょうか？たとえば、こんな時はどうでしょう？

☆スポーツクラブで神社^{じんじや}にお参^{まい}りに行くことになった…> (お参^{まい}りする／しない)

☆遊^{あそ}んで帰^{かえ}る時、友だちの自^{じてんしゃ}転車の鍵^{かぎ}が見つからない…> (いっしょに探^{さが}す／遅^{おそ}くなるので先^{かえ}に帰る)

☆いっしょにしゃべっている友だちが自分の親友^{しんゆう}の悪口^{わるぐち}を言^いいはじめた…> (いっしょに笑^{わら}う／だまる)

☆思いがけないおこずかいをもらったが、「地震募金^{じしんぼきん}」の箱^{はこ}を見^みかけた…> (一部募金^{いちぶぼきん}する／全部^{ぜんぶ}使う)

③ 神様^{かみさま}、勇^{ゆう}気のないわたし(ぼく)ですが、どんな時^{かみ}も、神さまに^{したが}従うことができますようにどうぞお助^{たす}けください。イエス様^{さま}のお名前によって。アーメン。

★ 自分^{自分}の力では正^{ただ}しいことをすることができません。自分^{自分}でお祈^{いの}りをしたり、また、まわりの人^人にお祈^{いの}りしてもらう時^時、必要^{ひつよう}な力^{ちえ}と知恵^{ちえ}があたえられます。

1、今日の^{ことば}み言葉を^{おぼ}書いて覚えましょう。



しへん 詩篇128・4

2、今日は何の日？ 今日教会では何の日というでしょう？

の日

3、今日はだれに^{かんしゃ}感謝する日？

③それが作られるための^{しぜん}自然や
人間はだれが^{つく}造られたの？

②それはだれが作った／^{あつ}集めたの？

①あなたの^す好きな食べものは？

だから、きょうは

かんしゃに感謝する
日だね！

4、^{ことば}み言葉の中の「主(神様)をおそれる人」とはどんな人？ () に○をつけてね。

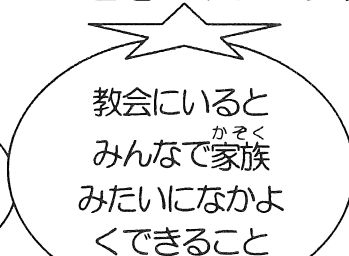
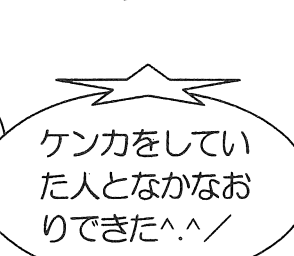
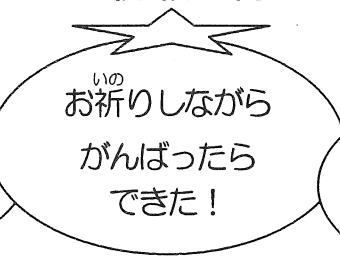
()

これはオレがやったんだ。^{かみさま}神様なんて、そんなのかんげーねエ！

()

^{かみさま}神様によってあのこともこのこともできました。^{かみさま}神様、^{かんしゃ}感謝します。

5、みなさんに与えられた^{あた}祝福は何でしたか？あてはまるものに色をぬりましょう。



^{かみさま}神様、^{めぐ}たくさんの恵みを感謝します。これからも^{かみ}神さまに^{したが}従っていきます。お守りください。
^{イエス}イエス様のお名前によってお祈りします。
アーメン。

★ ^{かみ}神さまをおそれる
(大切に^{たいせつ}にする) 人に
^{かみ}神さまはかならずよいように
してくださいます。神さまに
とことん^{かみ}したがいきましょう！

1、み^{つか}使いがザカリヤに言った今日のみ^{ことば}言葉を書いて覚え^{おぼ}ましょう。



ルカ1・13

2、今日のお話を思い出して次の質^{つぎ}問に答^{しつもん}えましょう。下の^{ことば}言葉^{ことば}をえらんで書^かきましょう。

- ① イエス様^{さま}がお生まれになる少し前^うに、ユダヤの祭^{さいし}司でザカリヤさんとエリサベツさんという夫^{ふう}婦^{ふう}がいました。この夫^{ふう}婦^{ふう}は代^{だい}々、神^{かみ}様に仕^{つか}えていた家^{かけい}系^{ひと}の人^{たち}達で、神^{かみ}様の教^{ちゅう}えを忠^{まも}実^もに守^もる^{ひと}人^{たち}達でした。
- ② しかし、悲^{かな}しいこと^{こと}に、二人は長^{なが}い間^{かん}、^{いの}祈^{もと}り求^{もと}めましたが、あ^あたえられ^あないま^まま、二人とももう年^{とし}をとってしま^{しま}いました。
- ③ ところが、ザカリヤさんが祭^{さい}だんの香^{かう}をたいていた時^{とき}、天^{てん}使^し ^{あらわ}がザカリヤさんの目^めの前^{まへ}に現^{あら}れて、「ザカリヤよ、あ^あなたに子^こどもが生ま^うまれる。名^な前^{まえ}を ^とと名^なづけなさい。」というではありま^{あり}せんか！
- ④ ザカリヤさんはす^すぐに信^{しん}じなかつたので、^がきけな^なくなりま^なした。でも、そのた^ために、かえ^かってこの約^{やく}束^{そく}は本^{ほん}当^{とう}だと分^わかり、静^{しず}かに待^{まち}ちま^ました。
- ⑤ ついに本^{ほん}当^{とう}に ^に子^こどもが生ま^うれま^ました。その時^{とき}、ザカリヤさんは口^{くち}が開^{ひら}いて心^{こころ}から喜^{よろこ}んで、神^{かみ}様^{さま}を賛^{さん}美^びしま^ました。この子^こどもがバプテスマのヨハネと呼^よばれま^ます。

ガブリエル・子^こども・エリサベツ・□・ヨハネ・正^{ただ}しい

3、今年^{ことし}のク^きリスマス、みなさんはど^どのよう^{よう}に待^{まち}ちま^ますか？

- () おも^{おも}ちゃ屋^やさん^のの告^{こう}白^{くわく}を見^みくら^{くら}べて、プ^ぷレゼ^れントをしん^{しん}ち^ちよう^{よう}にえ^えら^らぶ。
- () 出^でし物^{もの}やプ^ぷレゼ^れントの準^{じゅん}備^びであ^あわ^わた^ただ^だしく迎^{むか}え^える。
- () 他^{ほか}のク^きリスマス会^{かい}との予^よ定^{てい}を組^くみ^みな^なが^がら計^{けい}画^{かく}をた^たて^てる。
- () 他^{ほか} ()

☆神^{かみ}様^{さま}に一番^{いちばん}喜^{よろこ}ばれるのは、お祈^{いの}りして、イエス様^{さま}をむか^{むか}える心^{こころ}の準^{じゅん}備^びをす^すること^{こと}です^すね^ね。^

⑤ 神^{かみ}様^{さま}、イエス様^{さま}が生ま^うれるた^ために不^ふ思^し議^ぎな準^{じゅん}備^びをし^してく^くだ^ださ^さって、あ^ありが^がと^とう^うご^ござ^ざい^いま^ます。わ^わた^たし^しも^も期^き待^{たい}し^して^て待^{まち}ち^ちま^ます。イエス様^{さま}のお名^い前^{まえ}によ^よって^てお祈^{いの}りし^しま^ます。ア^アー^アメ^メン。

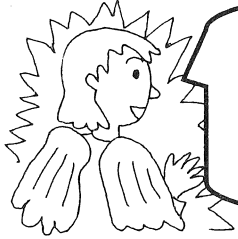
★神^{かみ}様^{さま}が人^{ひと}とな^なって^てく^くだ^ださ^さった、この不^ふ思^し議^ぎ！ヨハネ^{たんによう}の誕^{たん}生^{じやう}はそ^その^ま前^{まえ}置^おき^きな^なの^のです^すね。

ひつじかいと クリスマス

なまえ
名前

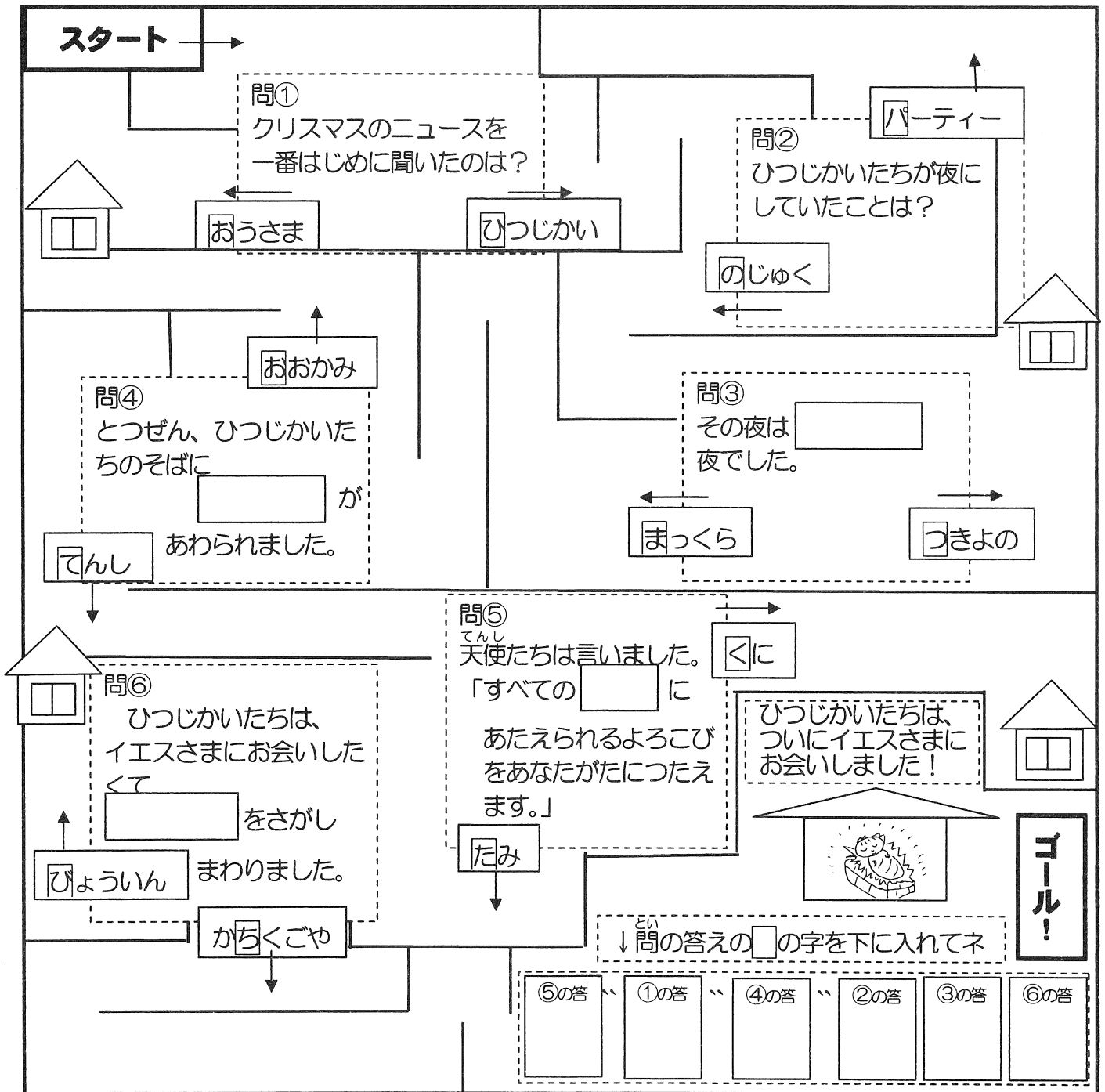
C2008 12月7日(アドベントⅡ)

1、天使が言った今日の^{きょう}み^{ことば}言葉^かを書いて覚え^{おぼ}ましょう。



ルカ2・10

2、今日のお話を思い出して質問に答え^{こた}ましょう。正しい答えの方向に進^{すす}んでネ。



③

イエス^{さま}様が、わたしたちのところにきてくださったことを感謝^{かんしゃ}します。イエス^{さま}様のお名前^{いの}によってお祈^{いの}りします。アーメン。

★どんな人のそばにもイエス^{さま}様はきてくださいます！

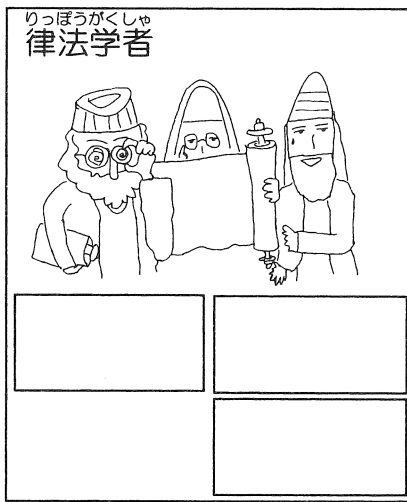
1、博士たちが王に言った今日のみ言葉を書いて覚えましょう。



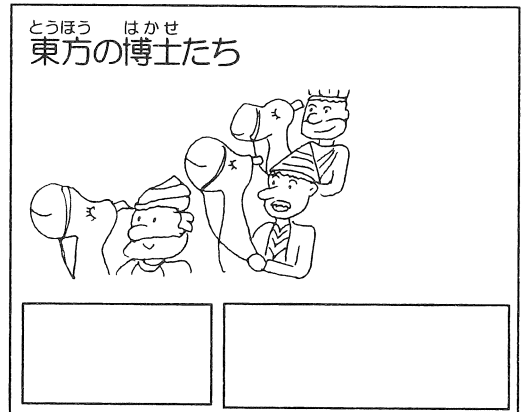
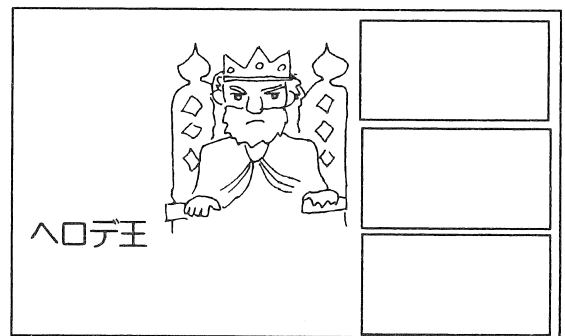
マタイ2・2

2、今日のお話を思い出して次の質問に答えましょう。

☆ヘロデ王・律法学者・東方の博士たちがイエス様の存在を知った時の気持ちはどんなだったでしょう？下の から選んでそれぞれの心には書き入れましょう。



イエス様

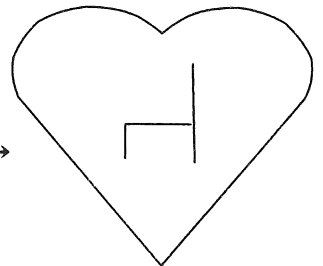


ふあん よろこ むかんしん いけい ねん
不安・喜び・無関心・畏敬の念(かしこま
る気持ち)・憎しみ・冷淡・高慢・ねたみ

3、もし、イエス様が近くにいたら、みなさんはどのように思いますか？

- () あ〜あ、固くてイヤ。好きなことできないよ。
() イエス様がいてくださったら、あんしん！
() あ〜、うれしいなー！ドキドキする><！
() べつに・・・きょーみない。

わたしのこころ



4、みなさんの心のまん中にイエス様が来られてもいいですか？→

(はい、どうぞ。 / いいえ、今はちょっと…。)

☆ きょう、イエス様をわたしのこころの王座(まんなか)に
おむかえしましょう。(十をイスの上にかきましょう)

③ かみさま
神様、わたしのこころの王座(まんなか)にきてください。

イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン。

★ かみさま
神様にわたしのすべてを
おまかせしましょう。
それがわたしにとって
本当のクリスマスです。

1、^{ことば}み言葉を^{おぼ}書いて覚えましょう。

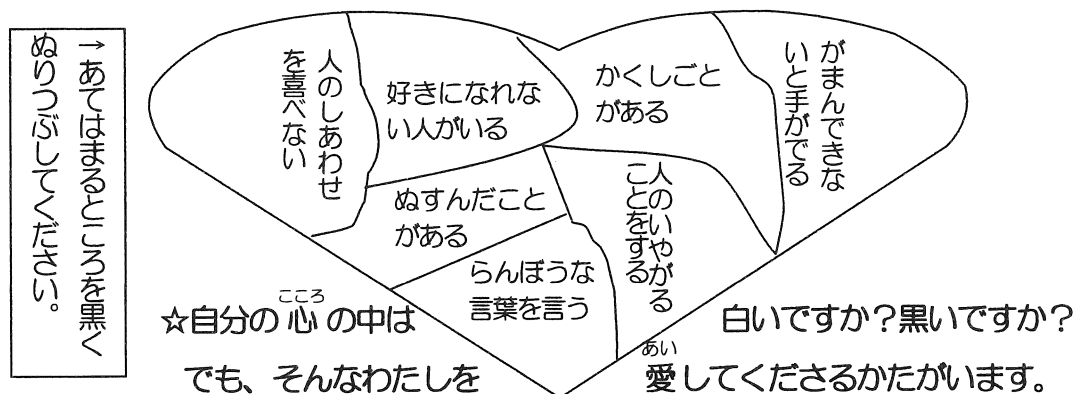
Iヨハネ4・10

2、「クリスマスおめでとう！」心いっぱい喜^{よろこ}びたいところですが、その前にちょっと周^{まわ}りを見てみると、イエス様を迎えるこの「世」はなんとまっ暗^{くら}なことでしょう！

①わたしたちのまわりで起^おこっている暗^{くら}いできごとに○をつけてみましょう。

(殺^{さつじん}人のニュース、いじめ、詐欺^{さぎ}、不正^{ふせい}(ズル)、戦争^{せんそう}、地震^{じしん}などの災害^{さいがい}、自殺^{じさつ}、事故^{じこ}、病^{びょうき}気、不道^{ふどうとく}徳^{こうとく}な広告^{さつじん}やメール、「殺人^{さつじん}ゲーム」などのこわいゲーム、カンニング、万^{まんび}引き、不正^{ふせい}乗^{じょう}車^{しゃ}、かつあげ、悪^{あくしつ}質^{らくが}な落^{らく}書^がき・いたずら、暴^{ぼうりよく}力^{りき}、・・・)

②でも、本当に暗^{くら}いのは、実^{じつ}はわたしたちの心の中かもしれません。



3、聖書「Iヨハネ4・10」を開いてみましょう。

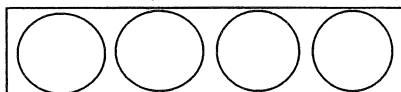
①あなたの一番大切な宝^{たいせつ}物^{たからもの}は何ですか？

②もしそれをだれかに「ちょうだい」と言われたら？又は「すてろ！」と言われたら？

あなたは^{こた}何と答えますか？

③イエス様はあなたのまっ黒^{つみ}い罪^{たいせつ}のため、一番大切な命^{いのち}をあなたにくださいました。

また、父なる神様は命より大切なひとり子イエス様を、あなたの罪のために十字架につけてくださいました。それはあなたが



だからです。

4、つづいて、聖書「Iヨハネ4・11、12」も見てください。

なかよくなれない人がいますか？ きょう、神様のご愛をいただいて「愛せますように」とお祈りしましょう。神様はわたしの心の中に人を愛する愛をくださいます。

③ 神様、人を愛することのできる、あなたの愛をください。

イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン。

★ 神様のご愛を知るクリスマスになりますように！

1、み言葉を書いて覚えましょう。



詩篇95・2

2、今日は今年最後の礼拝です。今日の聖書箇所（詩篇95・1～11）を読みながら、1年間をふりかえってみましょう。□□に聖書の言葉を入れましょう。

①(1節) イエス様は「救いの□□」です。

☆悪いことや失敗をゆるしていただいて、うれしかったことがありましたか。

()

②(3節) イエス様は「大いなる□□」です。

☆教会に来てよかったな、と思ったことがありましたか？

()

③(6節) イエス様は「□□り主（られた方）」です。

☆「神様って本当におられる」、と思ったことがありましたか？

()

④(7節) わたしたちは神様の「み手の□□」です。

☆今年一番楽しかった思い出を書きましょう。

()

⑤(7節) きょう、神様の「み□□」を聞きましょう。

☆覚えたみ言葉を一つ書きましょう。

()

③ 神様、今年一年の守りと恵みを感謝いたします。

イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン。

★新しい年も神様の
み言葉に聞きしたがって
いきましょう！

2008年度 牧羊者 第Ⅲ巻

ワークC解説 10~12月

10/5

●第1問 暗唱聖句を書き入れます。

●第2問 ダビデとヨナタンの友情は、ダビデが神様を愛してゴリアテと戦ったことを、ヨナタンが知ったことから始まりました。

●第3問 どんなときにも変わらない友情は、神様に根ざすときに与えられるものです。

●第4問 ヨナタンは大切なものをダビデに与えています。奪うのではなく、与えたヨナタンの気持ちはどのようなものだったのでしょうか。

●第5問 本当の友だちとは、どのような存在か考えてみましょう。

10/12

●第1問 暗唱聖句を書き入れます。

●第2問 サウル王、ダビデ、ヨナタンのそれぞれの立場を確認し、物語を理解させます。

●第3問 父親とダビデの間で板ばさみになった、ヨナタンの行動を確認します。

●第4問 サウル王のダビデに対するねたみや敵意は、子どもたちの中にもある罪の姿です。

●第5問、第6問 神様を愛する生き方をしていこうとする時に、身近な人が妨げることがあるでしょう。それでも神様を第一に考えたヨナタンの姿と、自分自身を重ね合わせてもらいたいものです。

10/19

●第1問 暗唱聖句を書き入れます。

●第2問 神様を信頼していても、なお恐れを感じることもあるでしょう。ダビデのそういう状況は、子どもたちの日常の経験にも重なるでしょう。

●第3問 記入式ですので、いろいろな答え方があるかと思います。神様がヨナタンを送ってくださり、恐れの中にいるダビデを励ましてくださったことに目をとめさせましょう。

●第4問 状況がどんなに悪くても神様のお約束に目を向けるならば、平安が与えられます。子どもたちも、そのような言葉の力を経験できますように。

●第5問 人を慰めるのは、人を通して語られる神の言葉です。ヨナタンは普段から神様を愛していたので、友だちが必要なときに、神様のご計画を語ることができたのです。み言葉にふれていくことの大切さを伝えましょう。

10/26

●第1問 暗唱聖句を書き入れます。

●第2問 サウル王は用を足しにほら穴に入ってきました。ダビデの仲間の兵士たちは「チャンスが来た」とダビデに告げますが、ダビデは、それは神様に喜ばれないことであると考えました。どのような時もまず神様のみこころをたずねる、ダビデの姿を考えさせましょう。

●第3問 ダビデの行動の中心は人道主義でも、道徳主義でも、勇気がないのでもありません。神様との強い結びつきを感じることができるでしょう。

●第4問 すべてのことは神様の御手の中にあります。いつでも祈っているならば、そのことも平安の内に知ることができるでしょう。子どもたちにも、普段の信仰生活の大切さを伝えましょう。

11/2

- 第1問 暗唱聖句を書き入れます。
- 第2問 からだを鍛えたり、勉強をしたりすることも大切です。けれどもそれにもまして神様の言葉を聞くことの大切さに目をとめさせましょう。
- 第3問 ダビデの生涯は苦難に満ちていました。しかし賛歌の中から、神様に目をとめ続け、神様と友に歩み続けた人の姿が伝わってきます。
- 第4問 子どもたちの正直な言葉に耳を傾けましょう。神様との生きた関係を築いていけるように励ましましょう。
- 第5問 自分が一歩神様に近付くために何ができるのか、子どもたち自身に考えさせて、そのことを励ましましょう。小さなことの積み重ねが大切です。

11/9

- 第1問 暗唱聖句を書き入れます。
- 第2問 神様がエホヤダとエホシバを用いられたことを確認します。神様は人を用いてそのわざをすすめられます。
- 第3問 一番大切なことは神様を愛する子どもに成長することです。エホヤダ、エホシバがそのように育ててくれたことの幸いを伝えましょう。
- 第4問 神様のために始めたことでも、順調にいくとは限りません。しかし困難な中にも神様の知恵をいただいて、進めていったヨアシの姿を学びましょう。
- 第5問 ヨアシの事業の中心は、神様を喜ばせよう、という思いでした。決して人に認められたい、注目されたいということではありませんでした。子どもたちも神様に喜んでいただける生き方を選んでいけるように、励ましたいものです。

11/16

- 第1問 聖書を開き、暗唱聖句を書き入れます。
- 第2問 神様のご計画に従う時の心の動きを見たいと思います。エステルを励ますモルデカイの信仰、エステルが行動に移るための決心とその準備をする気持ちの動きに心を留めましょう。
- 第3問 自分に何か損を被^{こう}っても、神様の良しとされる所に従うということを、生徒たちが遭^あうかもしれない場面を想定して設問しました。他にも、神様に従うのに勇気があるような場面があれば、分かち合えるとなお良いでしょう。

11/23

- 第1問 暗唱聖句を書き入れます。
- 第2問 教会行事として確認します。
- 第3問 感謝の心が、収穫の主であり造り主なる神様に、向けられるようにと願います。
- 第4問 神様の祝福を受け取る秘訣は「神をおそれる」こと。詩篇をはじめ、聖書全体の鍵語であるので、「おそれる」という言葉をよく味わいたいです。
- 第5問 神の祝福の具体的な実として、説教例のポイントから、勤労の実、家庭の祝福、健康（バックストン『詩篇の霊的思想』より）、などをあげました。さらに自分としてはどんな祝福を受けているか、教師自身も例を用意しておいて、生徒と分かち合いましょう。

11/30

- 第1問 暗唱聖句を書き入れます。
- 第2問 ①②ザカリヤ夫婦が、神様を信じていながらも、祈りが聞かれなかったという悲しみを抱えていたことに着目しましょう。
③④神の摂理の奥深さと、人間の信仰の弱さを思います。
⑤神が人となることの不思議の前触れとして、バプテスマのヨハネの不思議な誕生があったことを確認しましょう。
- 第3問 第一アドベントですので、今年のクリスマスに対する自分の姿勢を省みたいと思います。「クリスマス」とは、「プレゼントの日」？なのか、「出し物の日」？なのか。どうしても、心が騒がしくなる季節ですが、しばらく心を静めて、一番大切な準備が何かを確認して、アドベントの期間を過ごしたいと願います。

12/7

- 第1問 暗唱聖句を書き入れます。
- 第2問 羊飼いたちが、ベツレヘムの町で一軒一軒、家畜小屋を探していった気持ちになって、迷路と設問をたどっていきましょう。
最後のゴールの所でそれぞれの設問の答えの頭文字（設問の番号に合わせて例えば問⑤の答えの頭文字はた）を並べて□に入れると「だびでのまち」ということばになるはずです。

12/14

- 第1問 暗唱聖句を書き入れましょう。
- 第2問 イエス様を取り巻く三者の気持ちを確認したいと思います。また、これらの気持ちが、現代の私たちの神様への態度の3種類ともいえるということに結びつけられたらなお良いでしょう。
- 第3問 ヘロデ王、律法学者たちのことを、「イエス様を喜べないなんてヘンなの！」と思いながら、しかし、もし、正しいお方が私の隣にいたら、本当に喜べるだろうか？と問い直しましょう。「クリスマス」を喜ぶためには、どうしても自分の中に「神を喜ばない心＝自己中心」があることを知って、そこを砕いていただかなければなりません。
- 第4問 神の子イエス・キリストを私の神様、主と告白して、私の心を支配される王となってください、と告白できること、それが一番大切なクリスマスを迎える準備だと思います。祈りつつ、生徒が決心できるように導きましょう。

12/21

- クリスマスが、単なるお祭り騒ぎではなく、神なき世（そして私の心）に神が来てくださり、救いとなってくださったことを喜ぶ日となるようにと願います。
- 第1問 暗唱聖句を書き入れましょう。
 - 第2問 ①まず、イエス・キリストがおられないこの世だったら、とその暗さをよく知りましょう。
②さらに、もっと暗い現実、私の心の中だということを確認したいと思います。その上で、イエス・キリストが私にとって必要です、との叫びを持つことができるようにと願います。
 - 第3問 クリスマスは「プレゼント」を贈り合いますが、最高のプレゼントは、この暗い罪の心^{はる}を赦し、救うためにこの世に来てくださったイエス・キリストであることを知り、その背後にある父なる神様と、御子の私たちに対する御愛を知りたいと願います。
 - 第4問 さらに、「互いに愛し合う時、神が私たちのうちにいます」というみ言葉を、一人一人が体験できるクリスマスとなるように願います。

12/28

- 第1問 暗唱聖句を書き入れましょう。
- 第2問 今日の聖書箇所を開いてたどりながら、1年間を振り返って設問に答えていきましょう。
 - ①「救いの岩」…罪の赦しの恵みを思い出しましょう。
 - ②「大いなる神」…他の所にはない、神様の恵みとは？を挙げてみましょう。
 - ③「造り主（造られた方（新改訳・新共訳）」…造りっぱなしでなく、「保ってくださる方」ということを知しましょう。
 - ④「み手の羊」…霊・心・体の養い（栄養）を頂いたことを感謝しましょう。
 - ⑤「み声を聞く」…どんな時も、み言葉によって信仰を固くさせていただきましょう。